

# 平成 19 年度 事業報告書

平成19年度当財団の事業を「平成19年度事業計画書」に基づいて実施したので、その概要について報告します。

平成12年4月に「財団法人 青少年更生福祉センター」（昭和42年設立）および「財団法人 矯正福祉会」（昭和46年設立）を統合し、「財団法人 日立みらい財団」として発足して本年度は8年目であり、「社会を明るくする運動」や「地域活動」を中心とした民間のボランティア活動を重点支援する方針で、事業推進してきました。

各事業の実施状況概要は以下のとおりです。

## 記

### 1. 青少年健全育成の教育・研修・その他支援事業(第1号事業)

#### (1)「竹内基金」国際交流事業

##### 更生保護・矯正職員の海外研究

東京保護観察所 保護観察官 林 寛之氏が平成19年9月10日から平成20年3月24日までの期間、カナダにおいて「犯罪者処遇について」の調査研究と、保護観察関係機関等を訪問し実地調査・研修をした。

矯正職員の海外研究は、今年度なし。

これらに要した費用は190万円。

##### 海外更生保護・矯正専門家招聘

海外更生保護専門家及び海外矯正専門家の招聘とも、今年度なし。

#### (2)「社会を明るくする運動」推進事業(子ども・いきいき・ネットワーク事業)

「社会を明るくする運動」は、平成19年度に57回目を数え、各種事業が全国的に展開された。

当財団では下記9地域の行事について助成した。

行 事	開催地	開催日	内 容 等
特別講演会及び ふれあい コンサート	北海道 帯広市	7月 8日	「社会を明るくする運動」開始式の一環として、特別講演会及びふれあいコンサートを実施。子ども・保護者など569名参加。
玄侑宗久 かけが えのないあなたに 贈るメッセージ	福島県 福島市	7月12日	芥川賞作家玄侑氏を招いて「絆を育む地域の力」をテーマにネットワークフォーラムを開催。中学生や一般来場者など464名参加。

紙芝居による 地区各種団体 との交流会	福井県 福井市 川西地区	11月10日	地域の偉人にスポットを当て、紙芝居・シナリオを作成。地区の各種団体と連携し小学校を会場に上演。小学生・保護者など200名参加。
おやこふれあい コンサート	和歌山県 新宮市	9月9日	地域の親子や一般の方々を対象に、家族のふれあいと相互の友情を深めることを目的に開催。130名参加。
たましまっこ・いき いき・遊ing	岡山県 倉敷市 玉島地区	7月12日 11月14日 11月30日	幼稚園児・保育園児と保護者を対象に、3つの活動（浜辺で遊ぼう、ミニSLに乗ろう、おにぎりパーティ&コンサート）を実施。295名参加。
子ども・いきいき・ ニュースポーツ フェスティバル	徳島県 藍住町	12月9日	町内8児童館利用の子ども達を対象に、フロアカーリング・囲碁ボール・ドッジボールの競技で交流。150名参加。
第9回さわやか ヤングステージ	熊本県 八代市	8月19日	地域の高校生を中心とした音楽やダンスのグループ発表機会を設定・開催。地域が一体となって青少年の健全育成に寄与することをめざす。730名参加。
第30回奄美支部杯 剣道大会	鹿児島県 奄美市	7月15日	中高校生の心身の鍛錬と相互の親和を図り、将来を担う青少年の健全育成に資することを目的に開催。134名参加。
匠に学ぶ ワークショップ in 東京芸術大学	東京都 台東区	8月4日	子どもたちが、本物の技に触れ驚きや感動を体験できる様、また、大学をより身近に感じたり、親子のふれあいの機会となるよう開催。207名参加。

これらに要した費用は270万円。

### (3)こども・みらい・サポート事業

本事業は、平成12年度までのボランティア研修キャンプ事業に替わる新たな事業として、平成13年度より計画・実施した。従来のボランティア研修キャンプ事業は全国BBS会員の研修が主目的であるのに対し、こども・みらい・サポート事業は地域の子どもの健全育成活動を実践することを主目的とし、BBS会員がこの活動を実践することでBBS会員の研修も兼ねた事業とした。

第7回である本年は、9月23日～24日に東京・オリンピック記念青少年総合センターにおいて、「こどもと学ぶ」のイベントを実施した。親子参加で、連凧作り・無線を利用したゲーム・ドミノ倒しに挑戦。こども達がさまざまな体験活動を通じ、心豊かな夢を持って伸び伸びと成長してくれることを願って開催。小学生・保護者・BBS会員スタッフ等250名参加し、盛況に事業を終えた。行事終了後、参加者はBBS運動発足60周年式典にも出席した。

これに要した費用は228万円。

### (4)更生保護奨励賞事業

更生保護事業推進の一助に「更生保護奨励賞」を設け、法務省の推薦する功績が顕著であった更生保護女性会及びBBS団体に奨励賞盾と副賞を贈呈している。

平成19年度は、下記9団体に贈呈した。

(副賞は1団体10万円)

都道府県名	団体名	功績の概要
北海道	札幌市BBS会	ともだち活動、社会参加活動、更生保護施設訪問、少年院行事参加など、積極的に活動。また、保護司会・更生保護女性会と合同での研修を行なうなど、研鑽にも熱心。

北海道	留萌BBS会	地元FM局の協力を得て、更生保護の紹介啓蒙・ネットワークの構築に尽力。保護司会の研修参加、市の青少年等連絡協議会への参画、清掃活動や身体障害者の活動援助なども行なっている。
岩手	北上地区更生保護女性の会	市内に氾濫していたアダルト雑誌やツーショットダイヤルカードの自販機撤去運動を立上げ、条例制定の原動力になった。また、子育て支援活動、犯罪予防活動を継続し、地域に根ざした活動を積極的に展開。
新潟	三条地区更生保護女性会	少年院の奉仕活動、ミニ集会・研修会等を実施。また、就学前の親子を対象とした教室や、小中学生の週5日制に対応した広場・教室を開催し、青少年健全育成と子育て支援を実施。
三重	伊賀地域BBS連絡協議会	伊賀市BBS、名張市BBS、皇學館大學BBSが夫々の活動を継承する形で統合し、熱心な活動を継続。また、子ども達のアコースティックライブの開催や、児童養護施設での音楽を使った適応指導教室も開催。
京都	佛教大学BBS会	スポーツなどのグループワークの企画や行事参加の機会の提供、季節ごとの行事レクリエーションを実施。また、保護司会・更生保護女性会とも協働して、地域の祭りに健全育成のためのブースを開設。
広島	岩国市岩国地区更生保護女性会	子育て教室を積極的に開催し、多数の参加を得ている。また、刑務所での行事に参加し、浴衣の提供や着付け指導も実施。関係団体と連携し、青少年健全育成・非行防止のための地域活動を展開。
高知	香南地区更生保護女性会	小学校で「折り紙教室」「本の読み聞かせ」などを実施。「子ども見守り隊」で、毎日の登下校時の挨拶声かけをし、犯罪防止を図っている。また、子育てに悩む母親などの相談相手としても活動。
沖縄	北谷町更生保護女性会	地域防犯ボランティア活動、更生保護施設の慰問援助活動、少年院のイベントへの参加・協力など積極的に活動。また、更生保護の広報に努めるほか、地域の活動にも積極的に参加。

これらに要した費用102万円。

#### (5) 矯正施設被収容者の福祉援助

##### 少年院対抗競技大会・文芸行事

各矯正管内で行われる少年院対抗の各種スポーツ大会、コーラス大会、レクリエーション大会、文芸コンクール行事などにその運営費を助成している。

平成19年度は、下記21件の行事に助成した。

管区名	行事内容	実施日
札幌	管内少年院教育活動発表会(意見発表の部、コーラスの部)	12月6日
	管内被収容者美術・文芸等コンクール	9月
	管内少年鑑別所秋季レクリエーション行事	10月
仙台	第23回管内少年院バレーボール大会	6月27日
	第33回東北ブロック書画コンクール	10月
	管内少年鑑別所秋季レクリエーション行事	9月

東京	第32回管内少年院剣道大会	6月28日
	管内文芸等作品コンクール	8月
	管内少年鑑別所七夕の日レクレーション行事	7月
	管内少年鑑別所秋季レクレーション行事	9月
	管内少年鑑別所年始レクレーション行事	1月
名古屋	第30回管内少年院バレーボール大会	7月5日
	第12回管内少年院読書感想文コンクール・意見発表会	11月
大阪	管内少年院コーラス大会	11月6日
	被收容者文芸作品等コンクール	9月
広島	第30回管内在院者剣道大会	11月6日
	管内文芸作品コンクール	10月
高松	管内少年院合同ディ・キャンプ大会	9月11日
	管内矯正施設文芸作品コンクール	11月
福岡	管内少年院登山キャンプ大会	7月25～26日
	管内文芸作品コンクール	9月

これらに要した費用557万円。

### 被收容者の文芸作品集発行

各矯正管区ごとに行われている被收容者の絵画，随筆，詩歌などのコンクール作品集の編集，印刷に対し助成した。

管区	作品集	管区	作品集
札幌	「どさん子」第31号（成人編） （少年編）	大阪	「教育作品集2007」（成人の部） （少年の部）
仙台	「文集みちのく」（第28号成人編） （第29号少年編）	広島	「中国路」第31号（成人編） （少年編）
東京	「文芸等作品コンクール入選作品集」 （成人の部）（少年の部）	高松	「海」第31号（成人編） （少年編）
名古屋	「わらく」第90号（成人編） （少年編）	福岡	「文芸コンクール入選作品集」 （成人編）（少年編）

これらに要した費用415万円。

### 矯正施設教育環境整備

矯正施設の教育環境整備として助成してきたが，平成15年度で計画施設一巡し終えたことから，平成16年度より事業休止とした。

### (6) 少年少女スポーツ育成大会の開催

第30回「竹内亀次郎記念杯 日立市少年少女スポーツ育成大会」を平成19年8月18，19日の2日間，日立市市民運動公園陸上競技場他8会場において開催した。少年野球，サッカー，バレーボール，ミニバスケットボール，バドミントンの5種目に合計1,179名が参加した。

平成13年度から，日立市の社会を明るくする運動実施委員会・保護司会にも後援をいただき，法務省が主唱し全国的に展開される「社会を明るくする運動」と協調した大会とした。

なお、11月29日に，大会開催30回（年）目を記念し，日立市市民運動公園敷地に「アオダモ」を植樹した。

大会に要した費用205万円。

## 2. 出版援助調査研究事業(第3号事業)

矯正の効果を高めるため、昭和51年から矯正行政に関する各種研究、調査及びその出版等に助成してきたが、平成17年度より事業休止とした。

## 3. 関連諸機関との連携・協力・支援事業(第4号事業)

### (1) 地域活動推進事業

#### 更生保護女性会ミニ集会モデル地区事業

更生保護女性会が全国的に行うモデル地区の「ミニ集会」活動に助成している。

平成19年度は、日本更生保護女性連盟が選定した下記28モデル地区を助成した。

地 方	都道府県名	地 区 会 名
北海道	函 館	函館西 更生保護女性会
	旭 川	名 寄 更生保護女性会
東 北	宮 城	遠 田 地区更生保護女性会
	秋 田	由利本荘地区更生保護女性の会
	山 形	小国町 更生保護女性会
関 東	栃 木	下野市 更生保護女性会
	群 馬	太 田 地区更生保護女性会
	埼 玉	狭山市 更生保護女性会
	千 葉	印西市 更生保護女性会
	東 京	江東区 更生保護女性会
	神奈川	都 築 地区更生保護女性会
	新 潟	妙 高 地区更生保護女性会
中 部	福 井	西 部 地区更生保護女性会
	岐 阜	関 地区更生保護女性会
	愛 知	碧南市 更生保護女性会
近 畿	滋 賀	栗 東 地区更生保護女性会
	京 都	京丹後 地区更生保護女性会
	大 阪	柏 原 地区更生保護女性会
	兵 庫	赤 穂 地区更生保護女性会
	奈 良	高 市 地区更生保護女性会
中 国	島 根	大 仁 地区更生保護女性会
	広 島	府 中 地区更生保護女性会
	山 口	下松市 更生保護女性会
四 国	愛 媛	伊 予 地区更生保護女性会
	高 知	芸 東 地区更生保護女性会
九 州	長 崎	対 馬 更生保護女性会
	熊 本	長洲町 更生保護女性会
	大 分	佐 伯 地区更生保護女性会

これらに要した費用は270万円。

#### BBSモデル活動事業

全国のBBS活動のうち、将来のBBS活動の指針となり、かつ青年ボランティアとしての特色を生かしたユニークな活動に対して助成している。

平成19年度は、日本BBS連盟が推薦した下記の13団体に助成した。

組 織 名	活 動 名 称	活 動 内 容 等
東北地方 B B S 連盟 (60周年記念)	焼物体験教室 「こどもと学ぶ」	児童養護施設の子ども達を招待して、「平清水焼・七右工門窯」で、会員との焼物体験教室を開催。
秋田地区 B B S 会 (秋田県)	なまはげ特別支援ジャー	いわゆる「発達障害児・者」へのアプローチの仕方を研究することで“ともだち”活動の対象幅を広げ多様なニーズに応えられるボランティアをめざす。
関東地方 B B S 連盟 (60周年記念)	あっ、私の横浜 再発見！ 親子ふれあいまつり	横浜市内のスタンプラリーや料理教室・寄席教室を通して、「すくすく生きる」力をはぐくむ機会をつくる。
静岡地区 B B S 会 (静岡県)	人と自然とのふれあい	社会参加活動のひとつとして、森林ボランティア団体と共同で、森林作業体験機会を持ち、保護観察対象者と学びあう。
早稲田大学広域 B B S 会 (東京都)	夏のバーベキュー・ グループワーク	野外での活動を通じて、絆の大切さに気付かせる。
鯖江地区 B B S 会 (福井県)	福井の自然って最高！	自然の中で、B B S と少年との心の距離を近づけ、また、多くの人とのかかわりを通して少年の協調性や社会性を養う。
高野山 B B S 会 (和歌山県)	日本おきあがりシステム 木工部	間伐材を利用したのドミノ牌作りに、問題を抱えた青少年の施設をはじめ、近隣組織を巻き込んで取り組む。
和歌山市 B B S 会 (和歌山県)	ラジオで発信！「起きあがりのネットワーク」	和歌山放送ラジオを利用して、起きあがろうとする人への暖かい理解と見守りの支援をアピールする。
中国地方 B B S 連盟 (60周年記念)	～おやこでニッコリ チャレンジアート～	親子によるバルーンアート及びメモボード作りを通して、ものづくりのよろこびと親子の対話の大切さを学ぶ。
徳島県 B B S 連盟 (徳島県)	高校生による非行防止 メッセージ事業	非行問題に関心のある高校生を対象に、鑑別所での学習や B B S との意見交流を通して、意見を取り纏め、発表する。
香川地区 B B S 会 (香川県)	香東川盆踊り大会	地域社会の住民・ボランティア・子どもが交流を深め、明るい社会をめざす。
九州地方 B B S 連盟 (60周年記念)	第56回九州地方 B B S 連盟長崎大会	新しい時代の“ともだち”活動のあり方、B B S 活動のあり方について、徹底した議論を深め、地域の子ども達のニーズを見極める。
福岡県 B B S 連盟 (福岡県)	『少年たちの心を感じた・感動した・心の応援支援団をつくらう』	“ともだち活動”の件数を増やすための広報活動を研究・実施する。

これらに要した費用は280万円。

### 地域自主活動事業

子ども達の健全育成や、地域住民への更生保護活動等のPRをめざし、平成19年度よりボランティア団体と連携し、自主活動イベントを開催。

東京都八王子市で凧作り・凧揚げの「親子ふれあい工作教室」を協賛実施し、12月1日126名、12月9日140名の参加を得た。また、2月26日には更生保護施設で「紫翠苑公開シンポジウム」を協賛開催し、更生保護ボランティア・関係者、地域の方々など約80名が出席された。

これらに要した費用は35万円。

## (2) 更生保護ボランティア支援事業

### 更生保護女性会中央研修

更生保護女性会は、更生保護女性会活動の一層の発展を願って、法務省の協力のもとに日本更生保護女性連盟及び日本更生保護協会と共催し、「更生保護女性会員中央研修会」を開催している。

平成19年度は、10月22日から3日間、全国から地区会の会長100名が参加し、東京・渋谷「ホテルフロラシオン青山」において開催し、「更生保護女性会と更生保護支援」をテーマに講義やグループ形式での活動報告・討議をした。

これに要した費用は100万円。

### BBS会員中央研修会

日本BBS連盟では、毎年全国から会員を募り中央研修会を開催している。

平成19年度は、第48回BBS会員中央研修会を9月22日から3日間、東京・渋谷区「国立オリンピック記念青少年総合センター」において会員100名の参加で開催。テーマ研修の他、こども・みらい・サポート事業「こどもと学ぶ」においてリーダー養成・体験研修をした。

これに要した費用100万円。

### 更生保護法人等役職員中央研究会

更生保護法人全国更生保護法人連盟では、全国の更生保護法人等の実務を担当する役職員により当面する諸問題の研究協議等の事業を行っている。

平成19年度は、1月29日から2日間、東京「アルカディア市ヶ谷」において全国の更生保護法人役職員180名が参加し、研究協議を実施した。

これに要した費用80万円。

### 更生保護施設支援事業

更生保護施設被保護者の社会復帰・自立にむけて、更生保護施設が行う地域住民等との交流レクリエーション行事に助成支援。平成15年度より新規事業としてスタートし、平成19年度は下記18カ所の更生保護施設に助成した。

札幌 / 札幌大化院	秋田 / 秋田至仁会	前橋 / 群馬県仏教保護会
東京 / 更新会	東京 / 新興会	東京 / 東京実華道場
東京 / 日新協会	甲府 / 山梨以徳会	静岡 / 静岡県勸善会
名古屋 / 立正園	名古屋 / 東三更生保護会	神戸 / 神戸学而園
岡山 / 美作自修会	岡山 / 備作恵済会古松園	京都 / 西本願寺白光荘
広島 / 呉清明園	大分 / 豊洲保護会	鹿児島 / 草牟田寮

これらに要した費用90万円。

## (3) 矯正関係団体、学会等への寄付・援助

### 教諭師中央研修会への援助

毎年、(財)全国教諭師連盟が実施する中央研修会を支援している。平成19年度は、第42回全国教諭師中央研修会が9月3日から3日間、法務省大会議室において実施され、全国から合計100名が参加。この運営費に助成した。

これに要した費用100万円。

### 全国篤志面接委員大会への援助

(財)全国篤志面接委員連盟が活動内容の充実と効果的指導方法について研究する第20回全国篤志面接委員大会が平成19年10月1日、法務省大会議室において実施され、全国から合計95名が参加。この運営費を助成した。

これに要した費用100万円。

### 矯正ボランティア支援事業

矯正施設内で活動している矯正ボランティアの育成・指導技術向上を図るための研修に助成支援。平成15年度より新規事業としてスタートし、平成19年度は8つの矯正管区の管内篤志面接委員研究協議会の研修に助成した。

これに要した費用200万円。

### 学会などへの寄付

犯罪に関する各学会の活動やその他の団体に援助を行っている。

平成19年度も次の学会・団体に寄付した。

日本矯正医学会

日本犯罪心理学会

日本犯罪社会学会

日本矯正教育学会

日本犯罪学会

日本司法福祉学会

日本被害者学会

いのちの電話

茨城いのちの電話

これらに要した費用80万円。

### ストックホルム犯罪学賞表彰事業への支援

スウェーデン法務省の後援を受けて、犯罪学分野の国際賞「ストックホルム犯罪学賞」が創設された。この賞は、犯罪研究に優れた業績、もしくは、研究結果を応用して犯罪の低減と人権尊重に貢献した方に贈られるものです。ストックホルム犯罪学賞の第一回授賞式は平成18年6月にストックホルム市庁舎で行われた。当財団は、平成18年度に500万円助成支援した。

平成19年度についても100万円助成支援した。なお、6月5日に開催された第2回授賞式には、当財団熊谷理事長が出席され、ドナーとしてスピーチを行った。

## 4. 機関誌「犯罪と非行」の発行事業(第5号事業)

平成19年度は、第152号から155号までの4号を発行。

発行部数は、毎号3,000部を発行した。

これらに要した費用1,628万円。

以上